



JAMCA ニュース

No.119

2023年10月1日

発行  
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31  
ザイップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

# これからの自動車社会の展望

専門学校 静岡工科自動車大学校 理事長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会 副会長

平井 一史



自動車社会が100年に一度の大きな変革期と囁かれ、その背景にある現象を一語で示しているのが「CASE」を呼ばれる社会変化や技術変化の動きであり、Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）の4つの用語の頭文字をあわせたものです。コネクテッドとは自動車がインターネットに常時接続した状態のことを意味し、走行・車両管理、それらに付随する安全管理、また走行データの収集・解析により自動運転への活用や目的地に関する情報取得等が期待される技術です。つぎに自動運転により安全性向上による事故の軽減や運転負担の軽減、交通渋滞の軽減等が期待されます。そしてシェアリングは自動車を個人が持つのではなく、複数の人たちが自分に合わせた必要な時間に使用できると言う利便性を高めます。最後の電動化は主に環境問題と絡めて急速に広がり待たなしの様相にあります。

自動車は時代の流れとともに新しい技術が次々と開発・搭載されています。例えば歩行者の安全や追突事故を避ける、衝突被害軽減ブレーキや車線維持支援など

による自動運転技術など、電子制御システムが新たな時代の先端を走っています。更にハイブリッド車から、まったくガソリンを使わない電気自動車や水素自動車など、燃料系にも変化の兆しがあり「国民の生命と安全」を管理する私たちメンテナンスの世界にも電子制御の知識や技術力が欠かせなくなり、より複雑で高度な先進技術に対応することが求められています。そしてこれまでは『体だけを使う仕事』という誤解がありましたが、近年では自動車に様々な新技術が搭載されたことで『頭も使う仕事』に大きく様変わりしました。

一級自動車整備士が誕生してから20年、自動車整備士の最高位の国家資格であります。その資格における権限や責任については、これまで一般的に認知されていないのが現状でした。しか

し、これからの自動車社会において国家資格である一級自動車整備士に対する社会からの期待は言うまでもありません。それは今までの自動車を修理、点検・整備していればよいという仕事内容ではなく、自動車のユーザーに対して診断結果をはじめ、故障部分とその原因、修理内容、今後故障を起こさないためのアドバイスを、高度な技術者で併せて人間力を兼ね備えた者が、丁寧かつ分かりやすい説明をしなければなりません。そして自分が点検・整備した自動車が再びトラブルを起こさないための、安全・安心に基づいた適切な助言ができ、更に自分の自動車を愛せるように導いてやる事ができれば、自然とユーザーとの信頼関係は築かれていきます。以上のようなことから、今後、一級自動車整備士の存在価値が認知され飛躍的に向上していくことを期待します。

## CONTENTS

- 2面 海外で注目を浴びている日本のクルマたち
- 3面 クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
- 4面・5面 原動機付自転車の排ガス問題・50ccのバイクがなくなる?
- 6面・7面 協会トピックス・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記